



1月 給食だより

令和8年1月
入間市立東金子小学校

あけましておめでとうございます 午

ふゆやす お 冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。かぜ 風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日

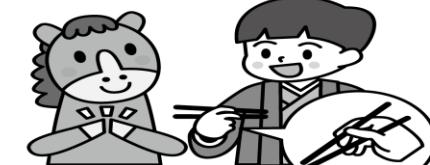
1日を大切に過ごしてほしいと
思います。



ことし どし 今年はうま年！



うまのように野菜をたっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう！



よく味わってうまいを感じよう！



1/24～1/30



がつ こう きゅう しょく むかし いま
「全国学校給食週間」 学校給食の昔と今

にほん がつこうきゅうしょく はじ めいじ ねん
日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にある大督寺
てら かいこう しりつちゅうあいしょうがつこう まづ べんとう も
というお寺に開校された私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、食事
ていきょう はじ ご せんごくかくち がつこうきゅうしょく ひろ
を提供したのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食が広がっていきましたが、戦争の影
きょう ちゅううだん
響で中断されてしまいました。

せんそう お こ えいようじょうたい かいぜん
戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するために、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から
えんじょぶっし がつこうきゅうしょく さいかい
の援助物資で学校給食が再開されることになりました。そして、昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式
おこな ひ がつこうきゅうしょくかんしゃ ひ
が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定められました。昭和25年度からは冬休みと重なら
ない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」とし、学校給食の意義や役割について理解や関心を高
めることなどを目的に、毎年、全国でさまざまな行事が行われます。



むかし きゅう しょく み
昔の給食を見てみよう！



昭和22年ごろ



トマトシチュー・ミルク

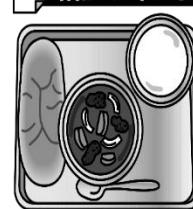


いま きゅう しょく
今の給食は？

はん ちゅうしん わしょく こんだて きほん きょうどりょうり きょうじしょく ていきよう
ご飯を中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、

せかい たよう しょくぶんか りかい ふか くに りょうり とい
世界の多様な食文化への理解を深めることを目的とし、さまざまな国の料理も取り
い いれています。そして、食事の提供だけではなく、栄養バランスや地域の食文化、
たもの かんしゃ きも まな い きょうざい
食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための「生きた教材」として
かつよう しょくいく やくわり にな 活用するなど、「食育」の役割も担っています。

昭和25年ごろ



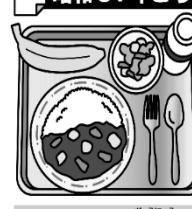
コッペパン・ミルク
カレーシチュー

昭和40年ごろ



ソフトめん（ソフト
スパゲッティ式めん）
ソフトめん五目あんかけ、牛乳・甘酢あえ・みかん

昭和51年ごろ



カレーライス・牛乳・
サラダ・バナナ

昭和51年ごろ ねん べいさん
飯(ごはん)が正式に導入され

ました。当時は、ご飯
たせび を炊く設備がない所が
おお 多く、おかずを作る釜
で、ご飯とおかずの両
方を調理するため、回
数は多くありませんでした。

